

兵庫県商工新聞

編集委員会
発行
兵庫県商工団体連合会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563(代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2018年11月
第315号



消費税10%反対 インボイス

集まって話し合えば怒りが

【垂水民商】

垂水民商では、「消費税10%・インボイス制度に怒りを」と、班会を開いています。

10月19日、西垂水支部 cafe Dylanで開かれた班会は、大型モニターで「教えて湖東先生」のDVDをみて、意見交換。参加者からは、「こんな現場で混乱するわ」「マクドナルドでトレイにハンバーガー乗せたら10%、持ち帰りでベランチに座って食べたなら8%、訳わかれへん」「10%、8%と考えると商売するなんて不可能やわ」

「結局、値上げにつなげて大変なことになるだけ」と、話がはずみ、中小業者いじめの消費税に怒りがわいてきます。

山口由美子事務局長は、「商工新聞には税理士会や大黒・千歳支部の学習会では、事務局が作成した紙芝居・消費税増税の軽減税率ってなに？の巻」を使

地域に呼びかけ学習

【須磨民商】

須磨民商の白川・名谷支部は会員のベーカーリーカフェで学習会を開きました。事前に地域に消費税・なんでも相談会のピラを150枚配布していたこともあり、会員外の参加もありました。

い、「みりんは酒類なので10%、みりん風調味料は8%」などクイズ形式で学習し、大いに盛り上がりました。参加者からは「自分の商売にこんな影響があるとは」「軽減税率と



【沖縄県知事選挙】

翁長前知事の遺志を継ぎ、玉城デニー新知事誕生

9月30日投開票の沖縄県知事選挙は、翁長前知事の遺志を継ぐ、玉城デニー氏が当選しました。民商・兵商連は24人が沖縄民商へ支援入り。全国の仲間と連帯し、奮闘しました。たたかいはこれから。新基地建設NO! 9条改憲NO! 戦争する国づくりNO!へ。さらにながらみましょう。

も、こんな難しいことできない」「私は建設業やけど、課税業者にできないなんてとんでもない。免税業者なのに、消費税を支払うことになる」「結局は価格上昇になって買い控えにつながるのでは」と不安の声が殺到。また、インボイス制度を初めて聞く参加者も多く「自分は免税業者なので関係ないと思っていたが、課税業者にならないといけないのか」と不安の声が。民商では、定期的に学習会を開き、みんなで反対の声をあげようという決意しました。



【芦屋・廣瀬通信員】

商売もくらしも大変や

【灘民商】

灘民商は、10月23日、神戸共同経理事務所の大槻良文税理士を講師に、消費税学習会を開きました。事前にピラも折り込み、当日は会外からも参加がありました。

大阪国税局の難しいパンフレットに基づいて、インボイス制度の仕組みと記帳方法を学びました。

学習すれば怒りわく

【芦屋民商】

10月14日、芦屋民商は婦人部と合同の定期総会を開き、運動方針と役員を選出しました。総会後、神戸共同経理事務所の中村明税理士を講師に、「どうなる消費税増税、複数税率インボイス制度とは？」を学習しました。

中村税理士からは、「消費税は低所得者に負担が重く、応能負担原則から言えば不公平な税制。また、複数税率・インボイス制度は、中小業者に複雑な区分経理が押し付けられ、非課税業者も課税業者の届出を出さなければ商取引から排除されてしまう」と、いかにひどい税制かが話されました。参加者からは「増税されたら商売できない」「インボイス制

た、「これじゃ、商売もくらしも大変なことになる」と怒りの声があがりました。民商からは、「多くの中小業者にこのことを知らせよう。ぜひ、知り合い業者に今日学んだことを知らせて欲しい。また、学習会を開くので参加して下さい」と訴えが。緊張感が広がった学習会となりました。



▼恵比須・大黒と尊重される神は全国に鎮座するが、私の故郷島根には佐太神社がある。佐太大神に御神体として祀られるのは白蛇。毎年11月には町内の漁港で揚るとされ、市民がお参りをする▼私は1955年に神戸に移り住んだが、故郷の出雲と同じように祭祀時はもちろん、前を通れば神社にお参りして、家族一同の平安をお祈りしてきた▼神戸での商いも、私の所業が認められてか、神への祈りに守られてか、75歳まで続けてこれた。そして、今90歳を迎え、老人施設で守られている??▼男女の子ども2人とその家族、もちろん、妻も含めて無事に今90歳を迎えようとしているが、人生での悲劇が2つあった。一つは息子の死、二つは娘婿の死。家族の柱となるべき2人を病で失ってしまった。神って何なのか？人間の及ばぬ力を持つと教えられてきたが▼静かに祈っても叶わぬ時があるのかと考えさせられる。やはり、自らを信じてまっすぐに進む方が大事ではと考えるのは私だけか。(I)



5年目を迎えた 県下41自治体訪問 身近な要求を自治体へ

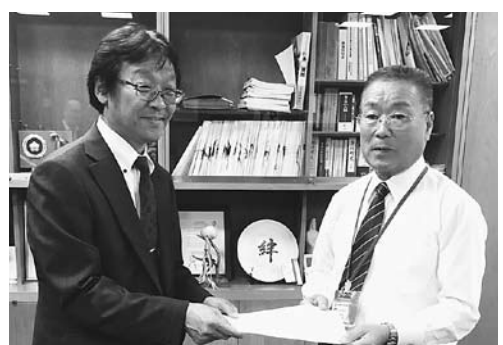
2014年から始めた県下41自治体訪問。今年も10月1日の三田市を皮切りに始まりました。

2014年から始めた県下41自治体訪問。今年も10月1日の三田市を皮切りに始まりました。中小業者を中心としたまちづくり、地域の活性化を民商が提案し、行政と意見交換をする場として定着してきました。各地の特徴をお知らせします。



丹波市長(左)と(10月4日) 稲美町では、130万円以下の工事等は町内業者に発注。自然災害に対する支援策は重要と考えているので、研究したい」と。加古川市では、修繕、営繕、物品の登録制度があります。融資は「昨年からの利率の引き下げ、保証料の2分の1の支援をおこなっている」と。

加東市では、「北はりま地方では、中小業者の頑張りや地域を支えている。人口の維持を保っている。中小業者を大切にしたい」と。



市川町長(右)と(10月23日) 限度額750万円の無担保無保証人資金の見直しを「検討したい」と。三田市では、地域経済活性化条例を制定するにあたり、「市民参加条例に基づいて意見を広く求めたい」と発言がありました。

宍粟市では、今年3月に制定された市中小企業等振興基本条例の制定において、「今回の懇談の場は貴重です」と話されました。

篠山市では、省エネビジョンを策定、木質バイオマス、ペレットストーブの設置への補助も実施しています。また県へは、「率先して地方の事業を支援して欲しい」と要望も。

西脇市では、市産業振興条例を3月議会

平和と憲法を守ろう

兵庫県生活と健康を守る会連合会



会長 森口眞良

「健康で文化的な最低限度の生活」というTVドラマが、7月から10話にわたり放映された。その背景には、格差と貧困が広がり国民生活がいっそう窮乏化する中、憲法25条や

生活保護制度が十分機能していないという危惧から社会に警鐘を鳴らしたのではないかと。安倍政権は軍事費を湯水のように膨張させる一方で、10月から3年間で最大5%の保護基準の引下げと、過誤支給の保護費からの天引き(差押え)やジェネリック使用を強制するなど、人権侵害もは

なほだしい制度改悪を強行した。母子世帯や高齢者など7割の世帯が引下げられ、1年寄りでは早う死ねというのか」という怒りが渦巻いている。

一連の生活保護改悪に対して国連が、「貧困層の社会保障を脅かし、自尊を損なうもの」として日本政府に再三警告を発している。

生活保護基準は日本のナショナルミニマムの位置にあり、生活保護基準引下げは就学援助や国保料(税)など多くの社会保障制度の後退につながり、生活保

護利用者のみならず多くの国民生活に悪影響をもたらすものである。私たちはこの10年来、生活保護バッシングに立ち向かい、全国的に「引下げアカン・生存権守れ」の裁判をたたかっている。今回も「全国1万人審査請求(兵庫400人)」運動を展開し、次なる裁判も視野に入れている。

今、マイナスイメージのある生活保護法から、権利であり誰もが利用できる「生活保障法」への法改正の機運が高まっている。早期実現をめざしていきたい。

南あわじ市では、130万円未満の小修繕において、小規模事業登録制度があり、現在85社が登録しています。また、インボイス制度の説明のなかで、「日本商工会議所が反対していることを知らなかった」と。「複雑な制度で問題が大きいと理解した」と、応えてくれました。

編集後記
本庶さんの発見で実用化されたガン治療薬、3度の薬価引下げでも一人年800万、公的医療保険の財政圧迫も問題だが、オスプレイよりオプジーボの方がどれだけ人を救えるのか。「彼の人」に25条の熟読を願う。(Y)



111人の仲間を増やし全婦協総会へ

10月13~14日、全婦協第32回総会が東京で開かれ、民商・兵婦協から、26人が参加しました。全国の仲間と交流し、パワーをもらいました。



南あわじ市(10月16日)

美味しい神戸牛食べに来て



神戸ビーフが大流行の中で、どこか懐かしい感じのする焼肉店「にくやん」は、新道北側1階路面店、入り

やすいお店です。鉄板焼きの「つくやん」に続いて出店し、2年になります。店主の西山浩由さんは、「若い人から、年配者まで気軽に楽しんでもらえよう」と頑張っています。ネットでの店紹介と合わせ、フェイスブックなどで

も情報発信しています。そんな中で生まれた商品。とろけたチーズにお肉を絡めて食べる「名物つけるチーズ」は若い女性に好評です。最後はチーズ煎餅みたいに食べられます。神戸牛のおいしさを知り尽くしたメニューは、良心的な料金です。店員確保や育成のためにも、給料の状況も考え、社会保険も完備

私の商売ものがたり
NO.189
西山浩由さん
(飲食)
神戸親和民商

することなど悩みはつきません。プライベートでは昨年結婚して子どもも生まれ充実してきました。「三宮の経営は厳しく、でも頑張ってきた。将来自らもっと大きくなりたい」と夢も語ってくれました。(神戸親和・市川通信員)

焼肉
にくやん
神戸市中央区
中山手通1-3-10
ローズプラザビル1F
☎ 078-381-7062

経営情報

地方税や国保料(税)では所得税以上に「応能負担」原則が弱まり、低所得者層に負担が集中し滞納が増加、一括納付を求められたり差し押さえなど強権的な徴収が強まっています。営業の継続若しくは生活の維持を最優先に「納税の猶予」制度を活用しましょう。相談は民商へ。